

ピアノ教材研究

(Survey of Piano Teaching Materials)

末永 雅子

3 年後期
選択 2 単位 講義

1. 授業の目的

現在、出版されているピアノレッスンのための教材は数十種類にもおよび、シリーズによっては、メイン教材に、テクニック、理論、併用曲集、指導書などの補足本を加え、全巻揃えると30冊以上になるものも少なくない。教材の選択は、特に学習の導入期には学習効果に大きな影響を与えられ、ピアノ指導者は、多くのメソッドの中からそれぞれの学習者にあった教材を選ぶ力を身につける必要がある。この授業では、教材の内容と効果について分析し、理解することによって、学習者ひとりひとりの年齢と進度、学習目的にあった教材を選び、指導効果を高めるピアノ指導法を身につけることを目的とする。

2. 授業計画

回	大項目	講義内容等
1	子どものためのピアノ教材について	一般的に使用されている様々な子どものためのピアノメソッドや教材を紹介し、その特徴について理解する。
2	幼児の導入期ピアノ教材について	鍵盤・音・指使いなど、導入期の幼児に基礎的な力を身につけさせることを目的とした教材について理解する。
3	読譜訓練のための教材	「ミュージック・ツリー」を取り上げ、楽譜の理解や読譜指導を目的とした教材について理解する。
4	テクニックを養う教材について	「バーナム・ピアノテクニック」「テーケ・ピアノテクニック」など、導入期にテクニックを学ぶための教材について理解する。
5	様々な練習曲集について	「ハノン」「チェルニー」を始めとした音階、アルペジオなどの演奏技術習得のための練習曲について理解する。
6	子どものためのメソッド①	「アルフレッド」「バスティン」などの幼児のための教材を取り上げ、子どもの音楽性を伸ばす教材について理解する。
7	子どものためのメソッド②	「ピアノのひろば」「テーケ 新ピアノの学校」「クルタークピアノのために」などハンガリーのピアノメソッド教材について理解する。
8	子どものためのメソッド③	「スオミ・ピアノ・スクール」「ミヨシ・ピアノ・メソッド」など様々な国のピアノメソッド教材について理解する。
9	4期の教材について	バロック期、古典派、ロマン派、近代現代にわたる様々な子どものための教材について理解する。
10	バロック期の作品導入のための教材について	バッハ「インベンション」「シンフォニア」およびバロック期の作品への導入となる教材について理解する。
11	古典派の作品への導入のための教材について	古典派の作曲家の「ソナチネ」「ソナタ」を取り上げ、楽曲構成や形式への理解を深める教材について学ぶ。
12	成人生徒のための教材について	「大人のためのピアノスタディー」など、成人対象の教材について学び、生涯学習としての音楽指導法を理解する。
13	発表会について	発表会の指導的効果について理解し、演奏発表の場にふさわしい教材、選曲について学ぶ。
14	ピアノ教材作成	学習者の年齢と進度や目的に合った読譜、ソルフェージュ、テクニック指導などの教材作りを行う。
15	教材の研究報告と発表	各自選んだ教材について、内容と指導効果について分析し、レポートを作成、発表を行う。
16	試験	レポート提出

3. 到達目標

各ピアノ教材の内容と指導効果について理解をし、学習者の進度や目的に適した教材を選び、指導する力を身につける。

4. 評価方法

教材研究レポート40%、教材作成40%、発表20%

5. 教科書

なし

6. 参考文献

なし